

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称		都市計画事務費 [生産緑地地区制度に係る事務]							
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号 3		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	都市計画		課		都市計画		係	課長名	神山 尚
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備						総合計画書 (ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	生産緑地地区			生産緑地地区の面積					
	→								
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	緑の基本計画の第一次計画の期間中における生産緑地減少率(平成10年から平成29年の19年間の年平均減少率:旧法1.89%、新法1.28%)を維持する。			年度ごとの生産緑地地区の面積を取組みの目標値を維持する。(達成率100%を成果目標とする。)					
	→								
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	・生産緑地地区の都市計画変更事務(事業手順は毎年同じ) 追加指定 買取申出 計画書等作成 東京都協議 都市計画審議会への付議 告示、縦覧、その他(標識管理等) ・特定生産緑地への指定促進を図り、生産緑地の急激な減少を抑制する。(令和4年度公示)			生産緑地地区の指定面積 ・生産緑地地区の都市計画変更事務を行った。 ・特定生産緑地指定への準備として、制度説明会や指定意向調査のアンケートを実施して対象者への周知を図った。					
	→								
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和50 年度						
	(2) 環境の変化		事業開始から40年以上経過し、農業者の高齢化が進んでいる。また、新生産緑地法の施行から28年余りが経過し、平成29年、生産緑地法の改定により、特定生産緑地制度が創設され、平成31年度は制度の説明会を実施した。						

事業名称	都市計画事務費 [生産緑地地区制度に係る事務]			
担当部署・課長名	都市計画	課	都市計画	係 課長名 神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	農業従事者の高齢化が進み、営農の継続に苦慮するケースも見受けられる一方で、特定生産緑地への指定意向アンケートでは、約7割の方が指定する意向であると回答していた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記)			
	多くの農地を維持・管理し続けてもらえるように、生産緑地として追加指定を促すため、農地所有者へ周知を行う。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	市報やホームページを用いて、生産緑地の追加指定についてのPRをしている。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
生産緑地の追加指定についての周知を図る。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名：市街地の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 特定生産緑地制度の周知を徹底し、指定の促進を図る。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
関連部署と調整し、特定生産緑地への指定を進めていく。				